

脳リスク検診のご案内

脳リスク検診とは、脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)や認知症、脳腫瘍といった脳の病気のリスクを早期発見するための健康診断です。

脳卒中は、麻痺や言語障害などの後遺症を残すことが多く、発症することで人生を大きく左右する疾患です。実際に要介護5(寝たきり)になる原因の第1位が「脳卒中」(24.7%)、第2位が「認知症」(24.0%)と、2つの病気で約半数を占めています。
(厚生労働省 2019年 国民生活基礎調査より)

高血圧、糖尿病、脂質異常症などの脳卒中につながる生活習慣病がある方、脳卒中になったご家族がいる方は、脳リスク検診を受けることをお勧めします。



検査項目について

①	頭部MRI	無症候性脳梗塞や脳微小出血が見つかります。脳腫瘍や脳萎縮の程度も分かります。
	頭部MRA	くも膜下出血の原因である脳動脈瘤や脳動静脈奇形など血管の異常が見つかります。脳動脈の閉塞や狭窄も分かります。
②	VSRAD (早期アルツハイマー病 診断支援システム)	MRIで得られた脳画像をコンピュータ処理して、アルツハイマー病で早期に出現する海馬・扁桃体・海馬傍回の萎縮を数値化します。
	MMSE	認知機能障害をスクリーニングする簡単な質問検査
③	頸動脈エコー	脳を栄養する頸動脈の動脈硬化や血栓の有無、狭窄を調べます。
	心電図	脳梗塞の原因となることがある心房細動などの不整脈を調べます。

費用について (税込)

ベーシックコース	①のみ	24,200円
認知症コース	① + ②	28,380円
脳卒中コース	① + ③	29,480円
フルコース	① + ② + ③	33,660円
※診療報酬改定によって、費用は変動する可能性があります		

- その他の人間ドックと同様、**発病していない方を対象とした検査**ですので、健康保険は適用されず、原則、**全額自己負担**となりますのでご注意ください。
- ただし、自身が加入する健康保険やお住まいの自治体によっては、補助金や助成金を受けられる場合があります、受診する前に確認・申請してください。
(令和7年度は、40歳以上で荒川区国民健康保険または荒川区の後期高齢者医療制度に加入している方で**保険料・住民税の滞納がない場合で前年度に同補助を受けていない場合、費用の半額を荒川区が助成する制度**)

予約～受診の流れ

ご予約: お電話または受付でお問い合わせください

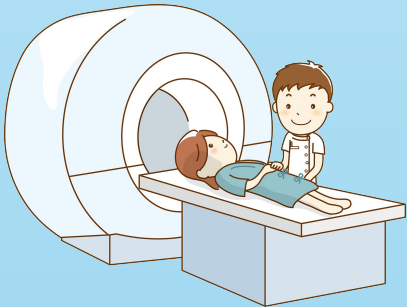
服装: 当日は、首周りを広く出せて、脱ぎ着しやすい服でご来院ください。

受診当日: 受付 → (①MMSE → ②頸動脈エコー+心電図) → ③MRI+MRA → お会計

結果説明: 受付 → 結果説明 → お疲れさまでした。 (※ ①や②は、ある方のみになります)

☆検査の結果、精密検査や治療が必要となった場合、当院での精査又は

グループ当院 (令和あらかわ病院・平成立石病院)、日本医科大学付属病院などへご紹介対応します☆



※注意事項※



心臓ペースメーカーや人工内耳、神経刺激装置、インスリン注入ポンプなど、体内に一定の金属がある場合はMRI検査を受けることができません。また、ステントや人工関節などでも、金属の材質が不明な場合は同様です。ご不明な点がございましたら、当院の放射線科までお問い合わせください。